



令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月8日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 時雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 井口 吉忠

TEL 03-5462-8224

四半期報告書提出予定日 令和元年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	22,658	6.5	1,119	26.2	1,170	34.2	742	50.2
31年3月期第2四半期	24,237	1.2	1,516	15.5	1,777	20.6	1,491	5.9

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 378百万円 (72.1%) 31年3月期第2四半期 1,360百万円 (23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	90.63	
31年3月期第2四半期	182.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	60,901	25,001	38.7
31年3月期	60,609	24,966	39.0

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 23,591百万円 31年3月期 23,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		40.00	40.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	3.4	2,500	5.6	2,750	11.8	1,750	2.8	213.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2年3月期2Q	8,194,029 株	31年3月期	8,194,029 株
---------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

2年3月期2Q	6,793 株	31年3月期	6,708 株
---------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2年3月期2Q	8,187,291 株	31年3月期2Q	8,187,482 株
---------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料については、令和元年11月14日の決算説明会開催後、当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用環境や個人消費を背景に景気は底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化を受け、欧州諸国やアジア新興国、資源国では輸出の伸び悩みなどもあり成長ペースが鈍化し、中国では景気減速が継続しました。一方、わが国では、設備投資や個人消費は緩やかな増加傾向にあるものの、輸出や生産は力強さを欠き、先行きの不透明感が一層高まりました。

当社グループにおいては、電子素材等の電子・機能製品の減販に加え、中国や東南アジア地域での景気減速の影響を受けました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は226億5千8百万円と前年同期比15億7千9百万円（6.5%減）の減収、営業利益は11億1千9百万円と前年同期比3億9千7百万円（26.2%減）の減益、経常利益は11億7千万円と前年同期比6億7百万円（34.2%減）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億4千2百万円と前年同期比7億4千9百万円（50.2%減）の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社の取締役会にて報告される当社グループの事業活動における経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同期のセグメント利益又は損失も営業利益に変更したうえで比較しております。

(電子・機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬・中間体などの機能化学品、粘・接着剤やトナー用樹脂などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は医薬関連は堅調に推移しましたが、農薬向けが低迷し、前年同期比減収となりました。機能樹脂は光学関連分野向け粘・接着剤は横ばいで推移しましたが、トナー用樹脂の販売が低調に推移し、前年同期比減収となりました。電子素材は市況の悪化により半導体用金型クリーニング材は海外での販売が伸びず、また、セラミック基板は車載向けが低調となり、ともに前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は89億8千7百万円と前年同期比7億5千4百万円（7.7%減）の減収、セグメント利益は7億9千2百万円と前年同期比1億9千6百万円（19.8%減）の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

マーキングフィルムは国内向けの販売が回復し、前年同期比増収となりました。ステッカーは東南アジア地域などでの販売が伸びず、前年同期比減収となりました。再帰反射シートは欧州や中国向けの販売が総じて振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は75億4千6百万円と前年同期比3億5千万円（4.4%減）の減収、セグメント利益は人件費や輸送費等のコスト上昇もあり、2億5千4百万円と前年同期比4億9千3百万円（66.0%減）の減益となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、ビル・住宅用アルミ建材や内装建材用プラスチック押出製品などではありますが、住宅着工戸数は賃貸住宅を中心に減少傾向にあるものの、主力の手摺、笠木等の販売が堅調に推移しました。

以上により、当セグメントの売上高は47億7千3百万円と前年同期比3百万円(0.1%増)の増収、セグメント利益はアルミ地金価格の低下による原価低減などもあり、2億8千8百万円と前年同期比1億6千5百万円(134.1%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・環境分野の産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は19億4千1百万円と前年同期比2億5千7百万円(11.7%減)の減収、セグメント損失は2千1百万円(前年同期は1千3百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比2億9千2百万円増加し、609億1百万円となりました。

このうち、流動資産は、現金及び預金や棚卸資産の増加などにより、前期末比8億3千9百万円増加し、324億2千7百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却による減少や投資有価証券の時価下落などにより、前期末比5億4千6百万円減少し、284億7千4百万円となりました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比2億5千7百万円増加し、359億円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金や短期借入金の減少などにより、前期末比11億7千3百万円減少し、204億2千6百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、前期末比14億3千万円増加し、154億7千3百万円となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、円高に伴う為替換算調整勘定の減少はあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比3千4百万円増加し、250億1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.0%から0.3ポイント悪化し、38.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは12億6千8百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは1億2千万円の支出となり、フリー・キャッシュ・フロー(営業活動と投資活動による各キャッシュ・フローの合計)は11億4千8百万円の収入となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは5億9千6百万円の収入となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末比16億4千5百万円増加して86億1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益の減少に加え、仕入債務の減少などによる運転収支の悪化により、前年同期比14億6千1百万円収入が減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出の増加はあったものの、定期預金の預入が減少したことなどにより、前年同期比1億4千1百万円支出が減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額の増加がある一方、短期借入金の返済が減少したことなどにより、前年同期比1億8千7百万円収入が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,062	9,877
受取手形及び売掛金	13,848	13,704
商品及び製品	4,244	4,376
仕掛品	1,557	1,527
原材料及び貯蔵品	2,229	2,399
その他	732	631
貸倒引当金	△85	△89
流動資産合計	31,588	32,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,140	7,145
機械装置及び運搬具（純額）	4,168	3,881
土地	11,594	11,586
その他（純額）	1,694	1,620
有形固定資産合計	24,598	24,233
無形固定資産	608	789
投資その他の資産		
その他	3,880	3,516
貸倒引当金	△66	△65
投資その他の資産合計	3,814	3,450
固定資産合計	29,021	28,474
資産合計	60,609	60,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,741	6,994
短期借入金	10,495	10,056
未払法人税等	224	248
賞与引当金	564	587
役員賞与引当金	31	13
その他	2,542	2,527
流動負債合計	21,600	20,426
固定負債		
長期借入金	6,776	8,221
退職給付に係る負債	3,267	3,380
役員退職慰労引当金	53	45
再評価に係る繰延税金負債	2,812	2,811
その他	1,134	1,015
固定負債合計	14,043	15,473
負債合計	35,643	35,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	7,381	7,796
自己株式	△12	△12
株主資本合計	16,807	17,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	786	559
繰延ヘッジ損益	△0	△2
土地再評価差額金	6,256	6,255
為替換算調整勘定	58	△215
退職給付に係る調整累計額	△250	△227
その他の包括利益累計額合計	6,850	6,369
非支配株主持分	1,307	1,409
純資産合計	24,966	25,001
負債純資産合計	60,609	60,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	24,237	22,658
売上原価	17,122	15,987
売上総利益	7,115	6,671
販売費及び一般管理費	5,599	5,551
営業利益	1,516	1,119
営業外収益		
受取利息	71	88
受取配当金	67	49
助成金収入	7	99
為替差益	178	—
その他	124	113
営業外収益合計	450	351
営業外費用		
支払利息	69	66
為替差損	—	122
その他	119	112
営業外費用合計	189	300
経常利益	1,777	1,170
税金等調整前四半期純利益	1,777	1,170
法人税、住民税及び事業税	211	283
法人税等調整額	△7	28
法人税等合計	203	312
四半期純利益	1,573	857
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,491	742

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	1,573	857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383	△232
繰延ヘッジ損益	△16	△2
為替換算調整勘定	△603	△268
退職給付に係る調整額	22	23
その他の包括利益合計	△213	△478
四半期包括利益	1,360	378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,310	261
非支配株主に係る四半期包括利益	50	117

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,777	1,170
減価償却費	1,062	983
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	85
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62	21
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△18
事業損失引当金の増減額 (△は減少)	△226	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22	5
受取利息及び受取配当金	△139	△138
支払利息	69	66
売上債権の増減額 (△は増加)	813	70
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△967	△340
仕入債務の増減額 (△は減少)	649	△714
その他	△190	273
小計	2,897	1,456
利息及び配当金の受取額	154	153
利息の支払額	△70	△67
法人税等の支払額	△250	△273
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,729	1,268
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,662	△680
定期預金の払戻による収入	2,177	1,433
有形固定資産の取得による支出	△743	△806
有形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券等の取得による支出	△3	△3
投資有価証券等の売却による収入	0	21
その他	△33	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△508	△395
長期借入れによる収入	3,400	3,100
長期借入金の返済による支出	△2,213	△1,693
配当金の支払額	△245	△327
セール・アンド・リースバックによる収入	57	—
その他	△81	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	408	596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141	△99
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,735	1,645
現金及び現金同等物の期首残高	4,398	6,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,134	8,601

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,734	7,873	4,755	1,825	24,188	49	24,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	23	15	373	417	△417	—
計	9,741	7,896	4,770	2,198	24,605	△368	24,237
セグメント利益又は 損失(△)	988	747	123	△13	1,844	△328	1,516

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,070	7,541	4,763	1,337	22,713	△55	22,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△83	5	10	604	534	△534	—
計	8,987	7,546	4,773	1,941	23,247	△589	22,658
セグメント利益又は 損失(△)	792	254	288	△21	1,313	△194	1,119

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社の取締役会にて報告される当社グループの事業活動における経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益に変更したうえで比較しております。